

5 直立多段ケージ鶏舎での HPAI 発生を想定した効率的防疫作業の検討

南丹家畜保健衛生所

○伏木彩乃 山本哲也

5 **【はじめに】** 管内大規模養鶏場は、直立多段ケージを有し最上 6 段目は床上約 4m と高く、狭い通路及び出口が特徴的な構造。HPAI 発生時に不慣れな動員者は、高所捕鳥作業、狭い通路の鶏体運搬、混雑するサービスルームでの詰替・搬出作業中でも安全で迅速な防疫作業を求められる。当所は、一連の防疫訓練で得られた課題を改善し、効率的な防疫作業を検討したので報告。 **【材料及び方法】** 高所での捕鳥は、市販アルミ製と足場パイプ製高所

10 作業台を比較。小型軽量カートと 70L ポリペールを利用して、作業台の通路設置による往復ルート確保を検証。延長ガスホース利用で、通路上でガス殺し、密閉容器封入から鶏舎外搬出までの方法を検証。 **【結果及び考察】** 高所作業台の利用等により、安全で効率的な捕鳥作業が可能。市販アルミ製は運搬や組立が容易だが高額で納期が長く、足場パイプ製は急場に安価でレンタル調達可能。小型軽量台車と 70L ポリペールの利用により、狭い通路での円滑な往復ルート確保が可能。延長ガスホース利用では、ガス注入位置を自在に変更でき、円滑な運搬動線確保が可能。運搬中にガス殺し密閉容器のフタ閉め作業は鶏舎外

15 で実施する等、サービスルームの作業集中を分散し混雑を改善。 **【まとめ】** 高所作業台等の鶏舎構造に合った資材利用や動線と作業方法等の検証により、安全で効率的な防疫作業が可能であった。今後も検討を重ね、HPAI 発生時の対応に備える。